

明治以前日本土木史 目次

第一編 河川・運河・砂防

第一章 河川……………(一)

第一節 緒言……………(一)

第二節 水害……………(三)

第三節 制度……………(六)

第四節 工事總說……………(二)

上古(二) 奈良・平安時代(三) 鎌倉時代(三) 室町・安土・桃山時代(三) 江戸時代(四) 高水工事(七) 護岸・水制(三) 低水工事(三) 水門・扒樋等(三) 河口の變遷(三)

第五節 河川別概說……………(四)

利根川(四) 荒川(六) 中川(九) 多摩川(七) 鶴見川(七) 相模川(七) 酒匂川(七) 木曾川(五) 狩野川(八) 安倍川(五) 富士川(六) 大井川(九) 天龍川(九) 豐川(九) 矢作川(九) 庄内川(九) 淀川(一〇) 日野川(一四) 大和川(一五) 紀ノ川(一七) 富田川(一八) 加古川(二一) 高梁川(二九) 吉井川(三〇) 旭川(三三) 蘆田川(三四) 太田川(三五) 大竹川(二六) 眞占川(二六) 九頭龍川(二七) 常願寺川(二八) 竹野川(二九) 北川(三九) 千代川(三〇) 佐太川(三〇) 斐伊川(三一) 意宇川(三三) 圓山川(三四) 信濃川(三四) 阿賀野川(三六) 最上川(四〇) 雄

目次

物川(四五) 北上川(四六) 岩木川(五〇) 阿武隈川(五)

久慈川(五五) 吉野川(五五) 那賀川(五七) 仁淀川(五)

渡川(五九) 重信川(五九) 蒼社川(六〇) 筑後川(六二) 矢部川(六三) 川上川(六三) 菊池川(六四) 白川(六六) 綠川(六六) 球磨川(七〇) 川内川(七〇) 遠賀川(七三) 山國川(七六) 大野川(七六) 大淀川(七七)

第六節 結言……………(一〇)

年表……………(一一)

功勞者小傳……………(一七)

第二章 運河

第一節 總說……………(一五)

第二節 高瀬川……………(一四)

第三節 佐陀運河……………(一七)

第四節 那珂湊萬右衛門運河……………(二〇)

第五節 三左衛門堀……………(二五)

第六節 水門川……………(二六)

第七節 加古川舟筏路……………(二八)

第八節 堀川(福岡)……………(三〇)

第九節 堀川運河(名古屋)……………(三三)

第十節 鍋川……………(三五)

第十一節 見沼通船堀……………(三三)

第十二節 御船引堀・貞山堀……………(三六)

第三章 砂防……………(三九)

第二編 開墾・干拓・埋立・溜池・灌溉・排水

緒言……………(四七)

第一章 總說……………(四八)

第一節 神代……………(四八)

第二節 王朝時代……………(四八)

第三節 源平及び鎌倉時代……………(四八)

第四節 室町及び桃山時代……………(四八)

第五節 江戸時代……………(四八)

第二章 地方概説……………(四九)

北海道(三七) 青森縣(三七) 岩手縣(三九) 宮城縣(四〇) 秋

田縣(四一) 山形縣(四二) 福島縣(四五) 茨城縣(五一) 栃木

縣(五二) 群馬縣(五二) 埼玉縣(五三) 千葉縣(五七) 東京府

(三三) 神奈川縣(三七) 新潟縣(三三) 富山縣(三五) 石川縣

(三四) 福井縣(四三) 山梨縣(四六) 長野縣(四九) 岐阜縣

(三五) 靜岡縣(三五) 愛知縣(六三) 三重縣(六六) 滋賀縣

(三七) 京都府(七七) 大阪府(七九) 兵庫縣(八五) 奈良縣

(三九) 和歌山縣(九九) 鳥取縣(四〇) 島根縣(四六) 岡山縣

(四〇) 廣島縣(四三) 山口縣(四三) 德島縣(四三) 香川縣

(四四) 愛媛縣(四四) 高知縣(四五) 福岡縣(四五) 佐賀縣

(四五) 長崎縣(四五) 熊本縣(四六) 大分縣(四七) 宮崎縣

(四九) 鹿児島縣(五〇) 沖縄縣(五二)

第三章 各説……………(五五)

第一節 開墾……………(五五)

本願寺開墾地(五五) 奥寺新田(五二) 鳥居長根開墾(五八)

物部村荒廢復舊(五〇) 笠懸野開墾(五二) 清兵衛新田

(五三) 十二貫野開附十二貫野用水(五五) 雲雀野開附愛本

用水・舟見用水(五六) 村井新田(五七) 御影新田(五三) 美

濃波多新田(五九) 加古新村(五〇) 長者ヶ原開墾(五二)

荒木村(五五) 七條原開墾(五五) 仁保津墾田(五七) 阿田

新田(五九)

第二節 干拓……………(五九)

品井沼(五九) 見沼溜井新田並に見沼代用水(五九) 樺湖干

拓(五五) 印旛沼(五八) 大瀨野新開(五五) 紫雲寺湯新田

(五五) 本阿彌新田(五三) 熱田新田(五三) 友延新田(五四)

興除新田(五五) 小島新田(五七) 七百町新地(五五) 吳崎

新田(五六) 高江新田(五六)

第三節 埋立……………(五三)

河北湯埋立(五三) 吉田新田(五五)

第四節 溜池……………(五五)

廣溜溜大溜池(五五) 唐神溜池(五七) 入鹿池(五六) 夫婦

池(五六) 狭山池(五七) 益田池(五三) 服部大池(五七) 八

幡池(五五) 滿濃池(五七)

第五節 灌溉……………(五〇)

藤崎堰(五〇) 藤兵衛堰(五一) 松岡堰(五三) 飯豊山穴堰

(五三) 北楯大堰(五五) 黒井堰(五六) 上下堰(五七) 小川

堰(五八) 吉田用水(五八) 福岡堰(五九) 逆木用水(五九)

天狗岩堰(五九) 待矢場兩堰(五九) 葛西用水(五六) 六郷

用水(六〇〇) 稻毛川崎二ヶ領用水(六〇一) 芝原用水(六〇二)
 十郷大堰(六〇四) 朝徳堰(六〇五) 徳島堰(六〇六) 川中島用水
 堰(六〇七) 鹽澤堰(六〇八) 曾代用水(六〇九) 箱根用水(六一〇) 寺
 谷用水(六一二) 木津用水(六一三) 立梅用水(六一三) 新井用水
 路(六一五) 小田堰(六一六) 安藤井手(六一七) 八ヶ郷用水(六一九)
 入田用水(六一二) 市之井手(六三三) 床島堰(六三三) 大石長野
 堰(六三七) 馬頭井堰(六三六) 幸野薄(六三九) 通潤橋用水路(六四〇)
 初瀬井路(六四三) 小ヶ瀬井手(六四三) 赤江用水(六四五) 杉安
 用水(六六六)

第六節 排水……………(六七七)
 手賀沼疏水(六三七) 母坪排水(六四〇)
 年表……………(六四三)
 功勞者小傳……………(六六七)

第三編 港津・航路・航路標識

第一章 港津……………(六八三)

第一節 總説……………(六八三)
 港の形態(六八三) 港の修築計畫(六八五) 港の修築工事(六八七)
 港の修築及維持の財源(六八九) 港の功勞者(六九一)

第二節 近畿諸港……………(六九六)
 岸和田港(六九六) 堺港(六九六) 大阪港(七〇〇) 西宮港(七〇〇)
 兵庫港(七〇三) 神戸港(七〇五) 鹽尾港(七〇六)

第三節 東海道諸港……………(七一九)
 大湊港(七一九) 四日市港(七二二) 桑名港(七二三) 清水港(七三三)
 下田港(七三五) 波浮港(七三七) 和賀江島港(七四一) 三崎港

(七四二) 浦賀港(七四三) 横濱港(七四四) 東京港(七四九) 木更津
 港(七五二) 銚子港(七五三) 那珂湊港(七五五)

第四節 奥羽諸港……………(七五九)
 小名濱港(七五九) 荒濱港(七六〇) 蒲生濱港(七六〇) 寒風澤港
 (七六一) 鹽釜港(七六一) 石巻港(七六三) 青森縣諸港(七六四) 土
 崎港(七六五) 酒田港(七六五)

第五節 北陸道諸港……………(七七〇)
 新潟港(七七〇) 兩津港(七七六) 小木港(七七九) 直江津港(七
 八〇) 東岩瀬港(七八二) 伏木港(七八二) 三國港(七八三) 敦賀港(七八
 四) 小濱港(七八五)

第六節 中國諸港……………(七八八)
 明石港(七八八) 魚住港(七八九) 二見港(七九一) 福泊港(七九
 二) 高砂港(七九三) 飾磨港(七九六) 福山入江(七九九) 鞆港(八〇
 一) 尾道港(八〇三) 糸崎港(八〇五) 三原港(八〇七) 忠海港(八〇
 七) 竹原港(八〇九) 木之江港(八〇九) 御手洗港(八一九) 音戶港(八
 二〇) 吳港(八二二) 廣島港(八二二) 嚴島港(八二三) 新港(八二三)

江角港(八二四) 大浦港(八二五) 萩港(八二六)

第七節 四國諸港……………(八二七)
 今治港(八二七) 三津濱港(八二八) 郡中港(八三三) 岩城港(八三
 三) 手結港(八三三) 津呂港(八三三) 室津港(八三六) 浦戶港(八三
 六) 柏島港(八三九)

第八節 九州諸港……………(八三九)
 黑崎港(八三九) 宇島港(八四〇) 竹田津港(八三七) 大分港(八三七)
 都農灣(八三九) 内海港(八三九) 鹿兒島港(八三九) 揖宿港(八四三)
 坊津・泊津・久志浦(八四三) 平良港(八四四) 赤尾木港(八四五)

長崎港(八四) 田助港(八五)

第九節 沖繩島諸港……………(八五)

第十節 北海道諸港……………(八五)

箱館港(八五) 福山港及び江差港(八五) 樺提島紗那港(八六)

第二章 航路……………(八六)

神武天皇の東征(八六) 古代に於ける海外航路(八六) 沿海航路の發達(八六) 廻船式目(八六) 海賊跋扈と倭寇の跳梁(八六) 西歐との通商(八六) 鎖國後の國內海運(八六) 河村瑞軒の航路開發(八六) 北國海圖(八七) 松前と本州との交通(八七) 江戸蝦夷地間航路の測量(八七) 松前及び蝦夷地の交通(八七) 蒸汽飛脚船(八七)

第三章 航路標識……………(八七)

年表……………(八六)

功勞者……………(八九)

第四編 道路・橋梁・渡場・關所

第一章 總説……………(八九)

序言(八九) 交通概論(九四)

第二章 道路……………(九四)

第一節 道路の開通修築……………(九四)

第二節 路面……………(九五)

第三節 並木……………(九六)

第四節 道路標識……………(九六)

第三章 道路交通……………(九六)

第一節 驛傳及び宿驛……………(九六)

第二節 助郷……………(九六)

第三節 交通方法及び要具……………(九六)

第四章 渡場……………(九六)

第五章 橋梁……………(九六)

總説(九六) 桁橋(九六) 駄木橋(九九) 石拱橋(九九) 木拱橋(九九) 舟橋(九九) 藤橋又は葛橋(九九) 籠渡(九九)

第六章 隧道……………(九九)

第七章 關所……………(九九)

功勞者小傳……………(九九)

第五編 都市造營

第一章 總論……………(一〇〇)

第一節 序説……………(一〇〇)

第二節 都制の由來……………(一〇〇)

第二章 上代……………(一〇〇)

第一節 難波京……………(一〇〇)

第二節 大津京……………(一〇〇)

第三節 藤原京……………(一〇〇)

第四節 大宰府……………(一〇〇)

第五節 國府……………(一〇〇)

第三章 奈良朝時代……………(一〇〇)

第一節 平城京……………(二六七)

第四章 平安朝時代……………(二九)

第一節 長岡京……………(一九三)

第二節 平安京……………(一九三)

第三節 福原京……………(二〇〇)

第五章 鎌倉時代……………(二〇四)

第一節 平泉……………(二〇四)

第二節 鎌倉……………(二〇六)

第六章 室町・江戸時代……………(二二二)

第一節 城下町……………(二二二)

第二節 城下町各説……………(二二七)

仙臺(二三七) 福山(二三八) 萩(二三九) 甲府(三三〇) 岡山(三三一) 松山(三三二) 高知(三三三) 長岡(三三四) 和歌山(三三四) 駿府(三三四) 高松(三三四) 山口(三三五) 北海道(三三六) 福山(三三六) 其他の城下町(三三七)

第三節 江戸……………(三三〇)

江戸都制(三三六)

第四節 堺……………(三四〇)

第五節 長崎……………(三四八)

年表……………(三四九)

功勞者小傳……………(三五〇)

第六編 城 壘

目 次

第一章 城 壘……………(三五)

第一節 緒言……………(三五)

第二節 城壘變遷の概要……………(三五三)

上世(王朝時代)……………(三四四)

中世(武家時代前期)……………(三五三)

近世(武家時代後期)……………(三五六)

第三節 城壘の種類並に其性質……………(三六九)

第四節 城壘の繩張及び構造の概要……………(三七二)

概説(三七二) 繩張(三七三) 土居(三三〇) 堀(二六一) 石垣(三三三)

第五節 城壘の實例……………(三六九)

拂田柵趾(三六九) 元寇の防壘(三三〇) 江戸城(三三三)

江戸・大阪・名古屋・小田原城の幅員並に壘濠の比較(三五五) 幅員(三五五) 壘濠(三三六)

第二章 臺 場……………(三六)

第一節 緒言……………(三六)

第二節 時代の變遷と石場構築の概要……………(三六八)

第三節 臺場の種類及び構造の概要……………(三三三)

第四節 臺場の實例……………(三四四)

品川臺場(三四四) 川崎石堡塔(三四〇)

(附) 諸城及び城主石高……………(三四三)

第七編 水道(掘井を含む)

第一章 總 説……………(三五一)

第一節 緒言……………(一三五)

第二節 井の由來……………(一三七)

第三節 水道の由來……………(一三七)

第四節 下水の由來……………(一三九)

第二章 井の梗概……………(一三四)

第一節 井の構造……………(一三四)

第二節 掘抜井……………(一三七)

第三節 井の水質……………(一三五)

第四節 井と消防……………(一三九)

第三章 江戸水道……………(一三三)

第一節 序 説……………(一三三)

第二節 神田上水……………(一三八)

第三節 玉川上水……………(一三九)

第四節 龜有・青山・三田・千川上水……………(一四五)

第四章 地方水道……………(一四九)

第一節 専用と認めらるゝ水道……………(一四九)

福山水道(一四〇) 赤穂水道(一四一) 高松水道(一四四) 中津水道(一四六) 宇土水道(一四八) 水戸水道(一四九) 名古屋水道(一五〇) 鹿兒島水道(一五二) 尾久島水道(一五二) 長崎水道(一五三) 大津水道(一五三) 久留里水道(一五三) 越ヶ濱水道(一五四) 神奈川水道(一五五)

第二節 官用を主としたる水道……………(一五六)

金澤水道(一五六) 鳥取水道(一五七) 指宿水道(一五八) 磯集成館水道(一五九) 五稜郭水道(一六〇)

第三節 灌溉を兼用とせる水道……………(一四四)

仙臺水道(一四四) 静岡水道(一四五) 小田原水道(一四五) 米澤水道(一四五) 富山水道(一五五) 福井水道(一五六) 佐賀水道(一五六) 豊橋水道(一五九) 花岡水道(一五九)

功勞者水傳……………(一六〇)

第八編 測量・度量衡

第一章 測量……………(一四六)

第一節 緒 言……………(一四六)

第二節 創始時代……………(一四六)

第三節 支那交通後……………(一四六)

第四節 鎌倉室町時代……………(一四七)

第五節 徳川幕府時代……………(一四八)

第六節 我國に於ける里程……………(一五一)

第二章 度量衡……………(一五三)

第一節 總 説……………(一五三)

第二節 尺 度……………(一五五)

尺度の變遷(一五五) 尺度の種類(一五八)

第三節 量 器……………(一五五)

量器の變遷(一五五) 量器の種類(一五七) 秤座の制(一五五)

第四節 權 衡……………(一五五)

權衡の變遷(一五五) 衡及び秤の種類(一五五) 秤座の制(一五五)

年表……………(一五二)

第九編 土木行政

第一章 官制及び職制……………(一五七)

第一節 上古……………(一五七)

第二節 大化以後……………(一五九)

大化より養老に至る(一五九) 大寶令(一六〇) 令以後の沿革(一五七)

第三節 武家の職制……………(一五七)

緒言(一五七) 鎌倉幕府(一五七) 室町幕府(一五七) 豊臣氏(一五七)

江戸幕府(一五七)

第二章 土地制度……………(一五七)

第一節 上古……………(一五七)

土地の種類(一五七) 土地の測定(一五八)

第二節 大化以後……………(一五八)

緒言(一五八) 土地の種類(一五九) 口分田・位田・職田・功田・宅地・園地(一五九) 土地の測定(一五九) 沿革(一五九)

第三節 鎌倉及び室町時代……………(一五九)

土地の種類(一五九) 土地の測定(一五九) 田文・田券及び貫高(一五九)

第四節 安土桃山及び江戸時代……………(一五九)

土地の種類(一五九) 土地の測定(一五九)

第三章 課役制度……………(一六〇)

第一節 緒言……………(一六〇)

……………(一六〇)

第二節 上古……………(一六〇)

第三節 大化以後……………(一六〇)

令の課役制度(一六〇) 課役の忌避(一六一) 令制以後の課役(一六〇)

第四節 鎌倉及び室町時代……………(一六〇)

課役制度の變遷(一六〇) 課役制度(一六一)

第五節 安土桃山時代及び江戸時代……………(一六二)

村役及び公役(一六二) 國役(一六三) 武家役(一六四) 助郷(一六五)

……………(一六五)

第四章 土木施設に關する行政……………(一六六)

第一節 開墾及び覆墾……………(一六六)

上古より江戸時代に至る(一六六) 江戸時代(一六七)

第二節 道路……………(一六六)

上古より江戸時代に至る(一六六) 江戸時代(一六六)

第三節 橋梁……………(一六七)

上古より安土桃山時代に至る(一六七) 江戸時代(一六六)

第四節 治水……………(一六六)

上古より安土桃山時代に至る(一六六) 江戸時代(一六六)

第五節 雜……………(一六五)

江戸幕府營繕土工の職制(一六五) 都城藩の土木行政組織(一六五)

長河藩の土木行政組織(一六五) 江戸幕府地方官の職務に係る處務章程と誓文(一六五) 砂防事業沿革(一六七)

第十編 施工法

第一章 總說	(一六九)
第二章 工專用器具	(一六九)
第一節 土工用具	(一六九)
第二節 木匠用具	(一六七)
第三節 石工用具附鍛冶	(一六七)
第四節 水替用具	(一六七)
第五節 運搬用具(舟・車・轉木・艇)	(一六七)
第六節 搗固・浚深・抗打用具	(一六八)
第三章 施工技術	(一六八)
第一節 轆轤の沿革と大木の運搬	(一六八)
第二節 巨石の運搬	(一六九)
第三節 岩礁の破碎	(一七一)
第四節 石垣築方	(一七二)
第五節 河海岸石垣築方	(一七六)
第六節 土堰堤築方	(一七九)
第七節 溝渠・洗堰隧道の掘方築方	(一七九)
第八節 特殊土工・川除堤防築方・假締切・足代の構設・漆喰の沿革	(一七九)
特殊土工(七三〇) 川除堤防築方(七三三) 假締切(七四四) 足代(七四三) 漆喰(七四三)	
參考資料	(卷末)

挿入圖版

第一編 富士川筋羽鹿島附近圖(四三) 利根川變流圖(四三) 富士川筋雁金堤附近圖(九三) 瀬田川圖(一〇六) 攝津國武庫郡小林村圖(二八)	
第二編 宮川新田圖(三三) 川東用水圖(三三) 福富村全圖(四六) 玉名郡干拓沿革圖(四七) 八代郡干拓沿革圖(四八) 印旛沼開墾成功豫期圖(五五) 紫雲寺湯繪圖(五五)	
第四編 房川渡橋圖(六三) 神武天皇東征・景行天皇西巡・日本武尊東征圖(九四) 四條橋圖(一〇六)	
第五編 平安京圖(二九) 福山市街圖(三六) 古府圖(三〇) 駿府古繪圖(三四) 山口市街圖(三三) 別本慶長江戸圖(三三) 江戸圖(三三) 堺大繪圖(三四) 長崎繪圖(三四)	
第六編 豊臣氏の大坂城圖(三〇) 名古屋城主要部圖(三六) 相模國小田原城郭圖(三六) 蔭之尾島臺場圖(三三) 諸侯配置圖(三五)	
第七編 正徳末頃の上水圖(三四) 江戸内水掛り繪圖(三四) 江戸内水掛り繪圖(三五) 玉川上水入口圖(三四) 高松水道平面圖(四四) 静岡水道圖(四四)	
第十編 富士川天神瀧難船除大石運搬圖(七〇)	